



岡 津



令和3年度のキーワード
「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 1月号
令和4年1月7日
横浜市立岡津小学校
校長 宮路 ますみ
TEL 811-4104
FAX 812-4586

新たなる高みを目指して・・・新年に思うこと

校長 宮路 ますみ

新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご家族皆様で幸せなお正月を迎えられたことと存じます。

令和4年の干支は、壬寅(みずのえ・とら)です。壬寅には、「^{ようき}陽気を^{はら}孕み、春の^{たいどう}胎動を助く」つまり、冬が厳しいほど春の息吹は生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるという意味だそうです。(村上 瑞祥さん記)

岡津小学校にとっても、令和4年は新たなるスタートの年となります。昨年無事創立100周年の記念式典を終え、今年101年目の年を迎えます。また、新たなる気持ちで教育活動を行ってまいります。引き続き、保護者の皆様・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

60年前の壬寅の年は昭和37年です。この年は、高度経済成長政策により日本経済の急速な発展が進んだ年とされています。人々の生活はどんどん豊かにそして便利になっていきました。幾つか象徴的な出来事を紹介したいと思います。

まず、この年から義務教育諸学校の教科書が無償となりました。今では当たり前となった教科書の無償化もわずか60年前にできた制度だったことが分かります。また、テレビ放送が朝7時から夜12時までの全日放送になったのもこの年だと言われています。この2年後には、ご承知のように東京オリンピックが開催され、文字通り日本は飛躍的な成長を遂げることになります。このように、これまで蓄えてきた力が一気に開花する年ということなので、人類と新型コロナウイルスとの闘いに一応の決着が見られることを期待し、今年も地道に一步ずつ着実に進んでいきたいと思っております。

100周年記念式典では、随所に子どもたちのアイデアが盛り込まれていました。渡り廊下を彩る花の道や体育館入り口の飾り、くす玉割などどれも実行委員が長い間時間をかけて話し合い、準備したものです。また、記念品のクッキーは、6年生が総合学習で味や形などを工夫して考えたものでした。

「自分たちの力で行動していきたい。決定していきたい。」と児童が自ら思い、実行する姿は頼もしい限りです。大人の手を借りることなく、自分の力で歩いていくことは自立の第一歩です。いつもでも親があれこれ心配し、足元の石ころを取り除くのはよいことばかりではありません。地道な努力や失敗を積み重ねてこそ、いつかその努力が一気に花開く瞬間があるのです。小学校時代は、失敗の練習を積み重ねる時期です。だからこそ、失敗することを恐れず、勇気をもって自分の信じる道を突き進んでほしいと思います。岡津小学校の卒業生であり、東京オリンピック2020の女子バスケットボール競技で見事銀メダルを取った宮澤夕貴さんは、小学校時代からバスケットボールに親しんでいたそうですが、決してそれだけではなく、他の運動や勉強にも前向きに取り組んでいたそうです。何よりも大切なのは、「今を楽しみ、前向きに頑張る力」。そう確信しました。

2022年が子どもたちにとって飛躍の年になることを願わずにはられません。